

医学部(保健学科)

学位プログラム「看護学」

学位：学士（看護学）

教育目標

大阪大学および医学部の教育目標を受けて、学位プログラム「看護学」では以下のとおり教育目標を定めています。

学位プログラム「看護学」では、高い倫理観と豊かな人間性を持ち看護学に関する高度な知識を有する医療専門職の養成を目指しています。そのための教育目標を下記の四領域に分けて示します。

- 高度な専門性と深い学識
 - 教科書や講義だけでなく実習やグループ学習などを通して基本的な医療知識のみならず先進医療のあらゆる分野に対応できる専門的な知識を教授します。
 - 講義を受動的に受講するだけでなく、自主的かつ積極的な学習を求めます。
- 教養
 - 高い倫理観と豊かな人間性を養います。
 - 健康と社会の関係を理解し、他人とコミュニケーションをとるための教養を養成します。
- デザイン力
 - 自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる能力を養成します。
 - 将来実地臨床の医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できるデザイン力を養います。
- 国際性
 - グローバル社会で活躍するために高度な専門知識・技術と語学力を基盤としてリーダーシップやサポートーシップが取れる人材を育成します。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

大阪大学および医学部のディプロマ・ポリシー(学習目標を含む)のもとに、学位プログラム「看護学」では以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めています。

学位プログラム「看護学」においては、高度な専門性と深い学識、教養、デザイン力、国際性をもった看護学の専門職の養成をめざすという基本理念の下、以下の基準を満たした学生に学位を授与します。

(学習目標)

- 高度な専門性と深い学識
 - ・看護学の専門的知識をもち、保健医療チームの一員として課題解決に向けての実践に貢献できる。
 - ・健康を増進し、疾病を予防し、健康を回復し、苦痛を緩和する方策を提案できる。

○ 教養

- ・高い倫理観と人間性を身につけ、看護の対象となる人々への深い理解を示すことができる。
- ・社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のためにリーダーシップを発揮できる。

○ デザイン力

- ・看護学の知識体系を文化、社会、自然に関連づけてプレゼンテーションできる。
- ・人々の健康生活の実現に向けて、柔軟で横断的な行動力を発揮できる。

○ 国際性

- ・世界の健康問題の解決に向けて同世代の人々と協力していくために英語でコミュニケーションをとることができる。
- ・日本の看護学の知識・技術を世界の人々に紹介できる。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施の方針)

大阪大学および医学部のカリキュラム・ポリシーのもとに、学位プログラム「看護学」では以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。

学位プログラム「看護学」は、全学共通教育で幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけます。専門課程では、看護学の理論と実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を総合的に教育・研究します。わが国におけるこれら分野の知的拠点として、学問的進歩を先導し、その中核を担う指導的人材の養成を目標としています。

カリキュラム全体を通して、医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚した医療のプロフェッショナルとして、目標の実現のために適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てる社会人を育成します。

具体的には、1年次では、共通教育系科目として教養教育科目、基礎セミナー、言語・情報教育科目、

健康・スポーツ教育科目を、専門教育系科目として専門基礎教育科目を、専門教育科目として医療科学概論、解剖学、生理学、生化学、臨床栄養学、微生物学、看護学概論といった看護学の基礎となる科目を学びます。

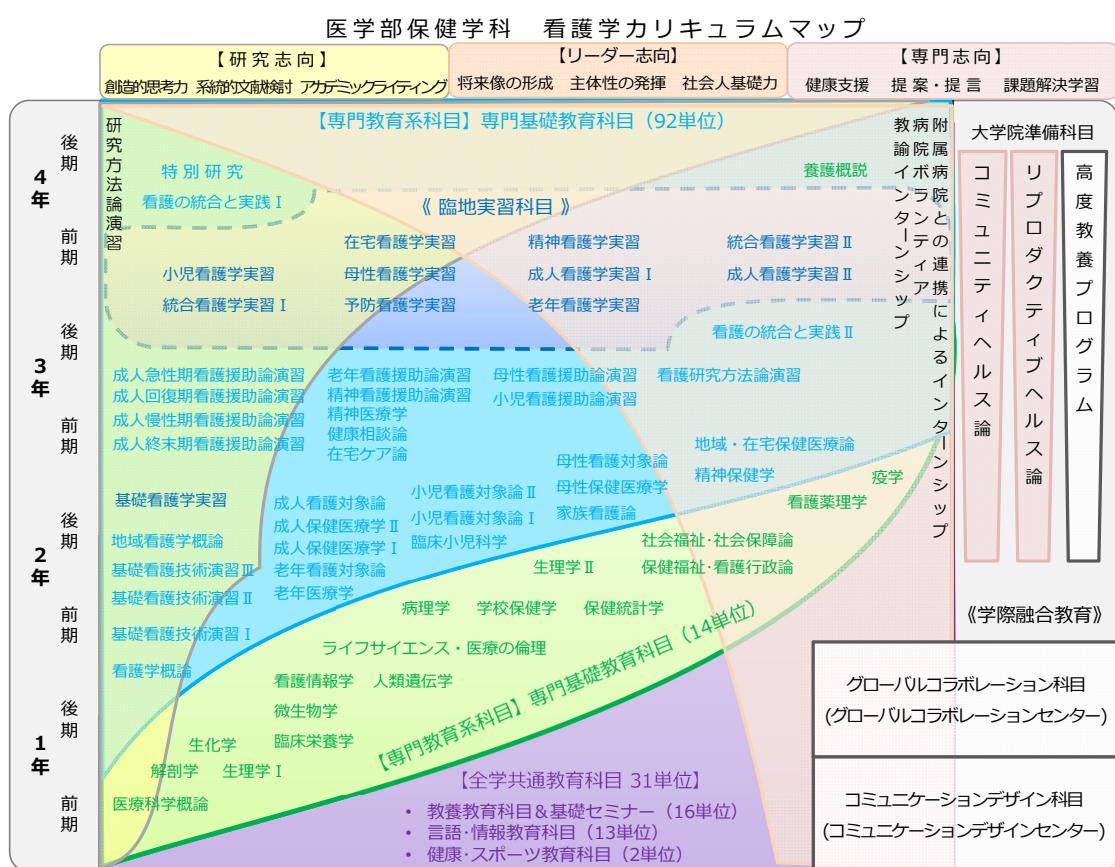
2年次からは生命の誕生から老年に至るまでの、看護の対象となる人々の特性や健康課題について学びながら、看護学全般の基礎となる看護技術について1年間を通して、演習形式で習得していきます。

3年次にはさらに、看護実践に求められる薬理学、社会福祉や社会保障制度などについて学びながら、看護の対象となる人々の生活や療養の場に応じた健康増進、疾病予防、健康の回復、そして苦痛の緩和を支援する看護学について学びを深めていきます。

そして、3年次後半から4年次前半にかけては、小児、母性、成人、老年、精神、在宅という看護学の専門分野ごとに設けられ、かつそれらを統合する臨地実習を、大阪大学医学部附属病院を中心として、その他各種専門病院、訪問看護事業所、介護老人施設などで行い、看護の実際について学びます。

4年次後半に配置されている特別研究は一般に卒業論文と呼ばれるもので、3年次後半から看護分野の研究課題を選んで、指導教員のもとで研究過程を修得し、その成果を論文形式にまとめ発表します。

【カリキュラム・マップ等(カリキュラム・ツリー、履修モデル)】



アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

大阪大学および医学部のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「看護学」では以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

医学部保健学科看護学専攻では、教育目標に定める人材を育成するため、下記の能力を備えた受験生を各種選抜試験により入学させます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や技術能力を有している人
2. 保健医療科学の分野で新しい道を切り開いていこうとする意欲を持った人
3. 高い倫理観と豊かな人間性を持つ人
4. 他領域、他分野と協力しつつ看護学を実践することに興味がある人
5. 国際的視野にたって個人、集団を考えられる人

このような受験生を選抜するために、大学入試センター試験、個別学力検査(数学、理科、外国語)および面接により、総合的に判断しています。

また、3年次編入学試験や帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試など、多様な選抜方法を実施しています。